

平成30年12月28日

青森市政記者会 様

青森市経済部地域スポーツ課長

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた
ホストタウン登録に伴う市長コメント

本日、青森市が、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けたホストタウン（対象国：タジキスタン共和国）に登録されましたので、市長コメントをお知らせします。

記

- 1 ホストタウンの登録内容について
 - ・自治体：青森市
 - ・対象国：タジキスタン共和国
- 2 ホストタウンとしての取組（計画）
 - ・大会等参加選手との交流
 - ・タジキスタン共和国関係者との交流
 - ・日本人オリンピック・パラリンピアンとの交流

※ホストタウンとは

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、事前合宿の誘致等を通じ、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体を「ホストタウン」として国が認定することで、開催効果を日本全国に広げていくもの。

問合せ 青森市経済部地域スポーツ課

担当：主幹 田中、主事 三上

TEL：017-718-1879

E-mail：chiikisupo-tsu@city.aomori.aomori.jp

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に 向けたホストタウン登録に伴う市長コメント

このたび、青森市が2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けたタジキスタン共和国のホストタウンに認定されたことを心から嬉しく思います。

青森市浪岡地区で盛んに栽培されているりんごの原産地が中央アジアであることをきっかけに、2020年東京大会を契機とした日本の自治体との交流を希望していたタジキスタンとのつながりが生まれ、去る10月、首相官邸にて、タジキスタン国内オリンピック委員会との間で事前合宿実施に関する覚書を締結いたしました。

今後は、合宿を契機に、タジキスタン共和国と交流を深め、トップレベルの選手と交流できる機会の創出や交流人口の拡大を図り、スポーツによる地域の活性化につなげていきます。